滿洲日報

◇法學博士 富井政章先生著

民法原論

第三卷 債權編 總論上冊

◇新刊◇ 債權總論上 定價金貳圓五拾錢

本冊は夙に世の定評ある富井先生著『民法原論』の續編にして世人の久しく發刊を待たれし債權總論の上部なり、債權法は著者が多年最も精緻なる研究を盡されたる民法の要部なれば其内容の完備せること言を俟たず、簡明に債權法の原理要綱を說き外法及判例を對照したる完全至良の參考書なり。

愈々發賣

富井博士著 既刊の二卷 民法原論 第一卷 總論 第二卷 物權

本書は前記債權編の前編たる總則及物權の二卷で民法研究上の好參考書

新學期 特賣

帝國六法全書

東京神田 有斐閣發行（振替東京三七〇番）

▽毎戸に備へよ……有斐閣の最新六法全書を

本書には我國の根本法たる憲法を始め、民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法の六大主法と之に關係ある附屬法規百數十件を網羅し、加之何人も知らんとする普選法・陪審法・兵役法等に至る迄採錄され、凡そ世人の必要とする重要法規は殆ど洩れなく蒐錄された無比の寶典である。

增補 四月發行の本書には新に司法官・辯護士並に各大學高等諸氏より要望の臨時法制審議會に於て決議せる民法改正要綱及刑法改正綱領を別錄として添附せり。

◇謹告◇ 既に本書御買上の方にて此の（別錄）御入用の方は郵券二錢御同封御申込下されば直に御送附申上ます

（特賣限期 五月二十日迄）

普及版 ポプリン表紙 横綴製 定價金二〇〇 特價 一・七〇
特製 總革表紙 横綴製 定價金二・五〇 特價 二・〇〇
（送料十四錢）

四年版

本書は印刷鮮明・內容豐富・携帶至便の三要素を完備した最も感じの好い法典で、現に各地裁判所を始め、司法官・辯護士は勿論各大學・高等學校・中等學校等に於て指定六法として採用せらるる有名の六法全書である。

弊店は今回修正完了の本書、昭和四年版發行を機とし、新學期特賣として特に期間を限り生產原價を以て普ねく江湖に頒つ。（但し期限後は斷然定價に復す）

◇好機逸する勿れ!!

泉二博士著 訂改 刑法大要 上製金五圓

司法・行政・立法の三權に對し全民衆に參與權が確認された今日、先づ何人も本書一本を座右に備へ、活用せられよ……

本書は刑法の全編を平易に說き、併せて刑法改正綱領の全文及其說明書全部を附加せる最新版也

發行所 東京神田 有斐閣　大賣捌所 京城 日韓書房 大連 大阪屋號書店 ……

配本開始 會員諸氏の感謝と期待との裡に第一回の配本を開始。菊判五百頁。

現代醫學大辭典

婦人科學產科學篇

執筆者（五十音順） 醫學博士 大瀨貴明 醫學博士 秋山瑞來 醫學博士 佐藤得齋 醫學博士 安藤畫一 醫學博士 篠田糺 醫學博士 石川正臣 醫學博士 堤寬一 醫學博士 小畑惟清 醫學博士 林敏郎

次回配本 小兒科學篇 五月初旬

第二期 世界大思想全集

十九世紀 文學主潮史（一）

吹田順助氏譯

ゲオルク・ブランデスが近世文藝批評家中の最高權威であることは定評のあるところ、十九世紀文學主潮史はその最も著名なる代表作である。今日の思潮、今日の文藝を根本的に理解するためには、本書が必ず通らねばならぬ關門であることは云ふまでもない。就には、十九世紀に於ける凡ゆる國の文學、思想が一目瞭然と說かれてゐる。この第一卷には、移民文學及び獨乙の浪漫派をおさめた。猶、第二回配本は、山路愛山の『露支大日本史』第一卷である。

五六〇頁

良人の自白 上下二冊

木下尚江著 四六判 定價（各）壹圓五拾錢 全二冊 送料（各）十二錢

これほど深刻に理想と現實の葛藤を描いて、生存の苦惱と戀愛の高貴とを痛烈に……しかも葛藤と苦惱の彼方に美しい黎明を謳つた小說が他にあるだらうか。世に埋れたる日本文學の一大傑作、版を絕つこと二十年にして茲に輝やかしく復活した！今や下卷出て讀書界の賞讃は一層白熱化せられつつある。

全二冊完成

東洋美論

金原省吾著 四六版 定價壹圓五拾錢 三百頁 送料十二錢

本書は、左記の目次が示す通り、東洋の心がいかなる特色を有つてゐるか、更に、その東洋の心を基礎として東洋の美がいかなる樣狀を示してゐるか、と云ふ問題の最も根本的な研究である。著書は觀察をもつて……全容を顯ふの……研究の世に盜らるる今日、本書の如き優れたる研究の世に……

目次 【第一章】序說【第二章】東洋の心—▼天▼老▼無▼明▼中▼髓▼淡▼知▼骨▼敬▼恒【第三章】東洋の美▼深簡▼綿密▼寂寞▼靈韻▼清氣▼流露▼用筆▼氣韻▼正形▼立意▼粗密▼畫法【第四章】結敍

春秋文庫

一冊五十錢 但、鮮近の心理學に限り壹圓

◇三五判總クロース ▼送料一冊八錢

本文庫は、凡ゆる階に於て讀期中の自眉と認められ、各學校の教科書として採用せらるる…二に止まらない。今又下記の三著出でて、本文庫の權威は益々加はるであらう。

美濃部達吉著 選擧法概說
宮嶋新三郎著 文藝批評史
住谷悅治著 社會主義經濟思想史

既刊書 永井潜著 科學的生學／船井敏之著 …／久保良英著 鮮近の心理學／高野辰之著 民謠童謠論／大澤宗壽著 教育史／本庄榮治郎著 日本經濟學史（近刊）◇以下續々刊行◇

目錄進呈 東京麴町內山下町 春秋社 振替東京…… 電話銀座……

土木建築 設計監督 請負 合資會社 共進組 電話三六〇三番 大連二葉町七一

暑いも寒いも彼岸まで 木炭の卒業の世が參りました 何卒御用命を永興號へ 永興號薪炭部 當店主は江戶ツ子ですから支那人とお間違のない樣に御引立を願ひます 電話五〇六二・八四五八番

毛皮 鞣、染色、手入保存 大連北崗子三 合資會社 豐田洋行皮革部 電話五五八一

新日本少年文學全集

豫約募集

▲愛兒のために良書を選べ！不良少年少女以上に恐るべきは、不良圖書である
▲日本少年文學界の權威者の苦心によりて少年少女の爲めに完成された、童話・童謠・兒童劇の一大寶庫
▲新日本少年少女文學全集 全十八卷▼

（1）建國物語集 古事記其他 蘆谷蘆村
（2）長篇童話集 山六爺さん 外數篇 沖野岩三郎
（3）實演童話集 將軍の夢 外數篇 久留島武彥
（4）科學童話集 火星探險 外十篇 廣田花崖
（5）宗教童話集 ……… 野邊地天馬・岩村やす子・栗津勸・小野田露村
（6）童話傑作集 ……… 外十數篇 村岡花子・中根眞雄・內山憲堂・樫葉勇
（7）幼年冒險小說集 雷龍の首 外數篇 安倍季雄
（8）世界神話集 希臘、北歐 外各國 松村武雄
（9）幼年童話集 諸葛孔明 外數篇 岸邊福雄
（10）（11）（12）文藝童話集 北原白秋・三木露風・川路柳虹・河井醉茗・濱田廣介・白鳥省吾・水谷まさる・大木篤夫・百田宗治 西條八十・野口雨情・井上康文・葛原𦱳・藤森秀夫・福田正夫・相馬御風・サトウハチロウ 他數十名
（13）動物童話集 小川未明・久保田万太郎・小嶋政次郎・水木京太・鹿嶋鳴秋・澁澤青花・千葉省三・濱田廣介・北村壽夫
（14）女流童話集 上澤謙二・樫葉勇・安倍季雄・野邊地天馬
（15）歷史小說集 與謝野晶子・茅野雅子・徳永壽美子・横山美智子・小寺菊子・宇野千代・村山壽子・北川千代子
（16）名作物語集 江見水蔭・笹川臨風
（17）兒童劇集 家なき子 外數篇 仲木貞一
（18）傳說童話集 坪內逍遙・生田葵・小寺融吉・岡田八千代・長尾豐・多田不二・藤澤衛彥・佐田至弘・中田千畝・西岡英夫

內容見本進呈

規略 ▲申込金貳圓（最終會費に充つ）▲毎月拂込金貳圓▲外に送本料を要す▲六月より毎月一回配本

裝體 ▲四六判天金▲總布製極美本▲十二インチ組總振假名付▲毎卷彩色石版挿畫數葉▲紙數毎卷三百五十頁

〆切五月三十日限 御希望の向には特に五月早々配本致します

東京市麴町區內幸町一丁目六番地 國民圖書株式會社 電話銀座七八三・二八八・三六八六 振替口座東京五二二九八番

池田小兒科專門醫院 池田嘉一郎 電話六三六五番

滿洲日報
日支兩國と新條約の締結

日支新條約締結の交渉は六月以後適當の時期に開始されるとの事であるが、濟南事件、南京又は漢口事件等は善後處理に過ぎず、支那の謂ゆる不平等條約廢棄を意味する日支新條約の締結こそは、日支關係の新スタートで有らねばならぬ。斯くて我國が支那の南京政府を事實上承認する事になれば、暗雲低迷する日支關係の上に多少の曙光を放ち來るやも知れないが、併しこれが爲めに日支關係が直ちに好轉すると考へるが如きは淺見である。殊にこの新條約締結には種々の難關が横たはり居るものと知らねばならぬ。

◇

歐洲戰爭の生んだ國際政局の大變化は、支那をして寛に國際的驕兒たらしめ、不平等條約撤廢、打倒帝國主義などをスローガンとして、常に對外的詭計を弄せしめる樣になつた。今の南京政府の如きはこの點に最も優秀なる手腕を有つてゐる。統一の實未だ擧がらず、庶政の改善蹟は見るべきもの無く、新興支那としての面目も實質も備はらざるに拘はらず、國際的驕兒たる支那は、自己の未成年者たる分際を顧みず、詭計と詭辯によつて己れの國際的地位を高め樣とする。是れは支那における列國の利己的策動にも由る事なれど、要するに支那それ自身のトリツクであるから、之れに深甚なる注意を拂はないと、新條約締結の交渉を開始する場合に臨んで、我國は意外な事に逢着するであらうと思はれる。

◇

吾等が今日最も憂ふるところは、國際的驕兒たる支那の對外的詭計に考へて、滿蒙問題が日支間の新たなる一大暗礁とならぬかと云ふ事である。不平等條約撤廢を意味する新條約の締結である以上、その交渉に方りて支那が關税自主權や治外法權撤廢を主張するは當然なるも、租界の回收、租借地の還附といふ風に歩を進めて來れば、滿蒙問題にも勢ひ觸れる事になり、大正四年の日支條約による滿蒙の我が既得權益が問題になるかも知れない。單なる通商條約の改訂であつても、國交を一變するといふ意味において、今日の支那は一切を御破算にせねば已むまじく、旁々滿蒙における我國の既得權益を構成する大正四年の日支條約も、支那としては之を過去の殘骸として取扱ふであらうと思ふ。若しさうなれば是れこそ日支新條約締結の上における一大難關である。

◇

斯く觀じ來れば、日支間には猶ほ許多の暗礁と難關の横たはれることを知るべく、此間支那は例の驕引として反日氣勢を煽らうから、日支親善などは到底望まれる筈がない。吾等は嘗て支那に排日運動の起る所以を述べたが、三民主義教科書その他によつて公然と排日乃至反日思想を鼓吹しつゝある支那の事であつて看れば、濟南事件の解決後も反日運動が終熄しないのは當然であつて、南京政府が申譯的に出した人權保障令の如きは空手形に過ぎない。支那の法令に實行力があると考へるのが第一の間違ひである。狀勢此くの如きを以て、日支新條約の締結は望むところなるも、この上に横たはれる種々の暗礁と相待つて、日支の關係は却つて惡化するやも知れず、新條約締結後も決して樂觀は出來ない。

◇

然らば則ちこれを如何にすべきかと云ふに、我國は飽くまで嚴正至公の態度を執り、支那の反日運動などに一喜一憂する事なく、對外的には別に新計畫を樹て、支那のために讓るべきものは之を讓り、取るべきものは之を取るといふ風に、どこ迄も公明正大であらねばならぬ。是れこそ眞の自主的外交であつて、彼の英米追隨外交や支那を附け上がらしめるやうな好意の安賣外交などは、日支の關係を好轉せしむる所以のもので無い。これを要する秋霜的威力と春風的信義を併せ用ふるのが支那に對する我が外交的要諦である。

何時解決するか見當つかず
暴動は辛くも豫防
開灤炭礦の大爭議

【天津特信】開灤炭礦の騷動は未だ解決を見ず當局と工人とは對峙して不穩の狀態に在るが、前日唐山より歸來した某氏は左の如く語つた

今次の唐山の勞働爭議は其情況が非常に重大であつて決して輕々に看過する事は出來ない

勃發し

たのは十五、六日頃で十八日晚開灤保安隊長は罷業廳の勃發を知つて保安隊員二百餘人では到底完全に責任を負ふて彈壓することは出來ないと、直接長官及び開灤當局に其事情を報告し何等かの辦法を請ふた、元來開灤炭礦は開平と灤洲の兩縣に跪りその管轄が異つて居るのでその運動が有利であれば兩方とも力爭し、不利であれば自然沈靜するが、今度は仲々猛烈で十九日廿日には極度に險惡となり、此爭議に參加して居る工人は合計六萬人に達して居り、曩に消極案と積極案の兩案が議定されたが消極案第一に怠業、第二に罷業で

目的を

達成せんとし積極案の方は該地に在る二萬馬力の電話局を破壞し、工人が開灤の地域に進入して暴動を起すと共に外人方面に對し左の五項の要求を提出するのが目的である

一、工人には無制限に石炭を半額で供給する
二、總工會は請負の特權を有する事
三、控煤の鐵鍬の木把を鋼把に改正する事
四、工人自衛の爲め銃品を支給する事
五、工賃の値上げ

外人方面に於ては工人の此の要求を不當と認めると共に暴動計畫を探知したので、之を豫防するため鐵板を以て

無電臺

を包圍し該電臺に從業する支那人を悉く追放してしまつた、目下の狀態では何時解決するか見込が立たない

遠からず解決せん
省委員語る

【天津特信】開灤の勞働爭議發生以來既に廿餘日を經目下工人代表と當局に於て交渉を重ねて居るが廿四日歸津したる河北省政府與委員が日界北洋飯店に於て談る處は次の如くである

開灤五礦に於ける今次の勞働爭議の最大原因は工賃値上要求が

唯一

の原因にて他には大した問題は無い、外間には種々なる宣傳が流布され怠業とか罷工とか取沙汰されたがそれは事實では無く、此種の計畫は爭議發生の當時も亦其後氣勢の揚た時にも無く勞資双方に於て意見の交換を爲した上に河北省政府に何等の解決を欲すべため申請して來たので、自分等が唐山に赴き速に之を解決するためその眞相を調査した上で技師長たる白耳義人杜爾克氏に就いて解決方法に就ての意見を求めたが、同氏の態度も極めて穩健で責任を以て何んとか解決したいから天津に於て總務局總經理楊嘉利の

意見

をも徴されたいと答へたので、天津に於て同氏を訪問して交渉した結果氏も工資の增給に就ては之を認めたがその方法は未だ決定を見ないが、近く唐山に出張し總工程司と礦工會議を召集して研究の結果解決方法を決定する筈であり、多分廿七日に赴唐の豫定である故來週水曜迄には解決を見るものと考へる、五礦工人の工賃は工頭の請負制度である故工頭は常に私腹を肥すの弊害があり、工人の毎月の所得は實際總局の支給より相當減少し自然苦痛を訴へるので此問題は充分に研究する必要がある

今次

の事變の勃發に乘じ平津間に潛伏する共產黨員が盛に造謠して工人を煽惑せんと努めて居るが、必ず圓滿なる解決を見彼等が乘ずる機會は無いものと考へる

八相
議員辭職者へ
大連一市民

投書歡迎　新聞行數五十行以内のこと

市長問題を中心としての大連市政の現狀は全く言語道斷です、市民が愛憎を盡かして市政革新を考へる樣になるのは當然です市會議員中にも呆れ果てゝ辭職の決心をする樣になつた者があると云ふのも當然な事です、併し問題の中心は市政の刷新改善といふ所にあるのだから此の中心問題を考慮しないで單に自分だけ議員の職を去るのは自分だけを潔ふすると云ふ一種の獨善的利己心であつて眞に市政のためを思ふならさうした事は出來ない筈です、辭職決意者の苦衷は察しますが泥土の中から自分だけ飛び出して跡は野となれ山となれで僕は知らないと云ふ事では全く獨善的利己心になりますから能くこの點を考へて進退を誤まらぬ樣にして下さい

上下の禮儀
紐　活　生

下僚が上司に對し敬意の念を持つことは普通であつて公務執行場は勿論路上出會のときでも部下の方より叩頭辭儀するのが例

日貨排斥の準備
延吉の國貨外貨調査

【間島特信】吉林省政府が延吉縣當局に對して日貨勢力の調査を命じて來たことは既報の通りであるが、縣當局は其の後更に「國民政府行政院工商部よりの訓令に依れば中央政府は全國各地に於ける國貨及び外貨を逐一調査し、國貨に對しては一日之を說明する方法を講ずることに決定すとあり、延邊地方(間島)は吉林省內に於ても外貨の輸入が最も多い處であるから、その現狀を調査し五月末日以內に必ず報告すべし」との訓令に接したので、愈近く調査を開始するに決したとのことで、右は日貨の排斥を企つ場合の準備と見られてゐる

外字新聞檢閲
平津司令部で

【天津特信】平津衞戍總司令商震が、滿鐵に代理權委託の能否を質問したフォード會社も其後自ら東洋に分工場を設置する事となり、近くは近來外人の經營する華北正報、順天時報其他の新聞の評論及記事が執範を脫し若しくは事實に反する記事を掲ぐる場合があり、軍事檢査を行ひ失當を認むるものに對して隨時之を糺正するに決した全く終熄せざる場合特に愼重なる

河北省新執行委員

【天津特信】今回中央定例會議に於て河北省執行委員に選出された張清源、王禮錫、吳鑄人、錢新之、紀東青、李志仲、豫備員、姚智深、徐李吾、王蒸齊、劉韵西、壽晉嵦

河北省の排日取締
政府と黨部協議

【天津特信】河北省政府に於ては廿六日中央政府よりの排日取締に關する訓令に基き之が對策に就き協議する處があつたが、外交部よりの訓令は所屬各機關に轉飭し各地の反日運動に對し剴切に勸阻し事端の釀成を免れる樣に云々とあり行政院からは各地反日會は既に救國運動會と改稱せしめ規定を決定させる事になつた故、北平天津の反日運動も自ら適宜制止せられたい蔣介石主席よりは反日會にして若し脫軌的行動がある場合は嚴重に制止を加へよと云ふので、その方法に就いては省黨部方面と協議決定する事になつたが、省政府では省黨部と打合せ安全妥當の方法で取締に着手する豫定である

朝鮮の慈雨
麥作特に惠まる

【京城發】二十四日以來鮮內各地の降雨は京城四五、三粍、龍岸浦一五、〇粍、仁川七、〇粍、元山二〇、〇粍、雄基一、〇粍、江陵五、〇粍で北鮮地方の田作播種期に際して非常によい雨であり特に麥作には無くてはならぬ雨であつた

ラヂオ英語講座

大連放送局五月一日午後七時三十分

講師大連彌生高等女學校茶谷茂

第五回（第五週第五課）

英語の發音
子音(Consonants)

Simple Consonant-sounds.

3. 摩擦音 (fricative)

{f （淸音）下唇を上の前齒に輕くあてゝ其の間から息を軋ませると此音が出る。
{v （濁音）息の代りに聲を軋ませると(v)の音が出る

off　rough　photograph　of　very　nephew

{s （淸音）舌先を上の前齒の根元に接近させてその間から息を(スー)と出せば此の音が出る
{z （濁音）息の代りに聲を出せば(z)の音が出る

sun　city　science　zed　zink　zero

{sh （淸音）(s)を發音する時よりも舌を少し奥の方へ引き舌端を上の方に捲き上げ唇を丸く突き出して(シー)と息を出せば此の音が出る。
{zh （濁音）息の代りに聲を出すと此の音が出る。

ship　fish　machine　sugar　asia　measure　pleasure

{th （淸音）舌の極先を上下の前齒の間に輕く狹みその間から息を(スー)と出せば此の音が出る。
{th （濁音）息の代りに聲を出すと此音が出る。

think　thigh　bath　there　bathe　though

w　兩唇を丸めて前方に突き出し舌の奥を高く上げて(ウー)と聲を唇の方に送り出せば此の音が出る。

watch　work　queen　wife　whiskey

h　口を開けて息を肺臟から急に(ハツ)と出すと此の音が出る。

home　horse　hat　him　who　hen

y　舌の中央を上顎の中程(即硬口蓋)に近づけ其間から(イー)と重く力を入れて聲を出すと此の音が出る。

you　your　yes　young　yacht

南征雜錄(6)
サンポウロ市にて
難波勝治

ブラジル(六)

アリアンサの信濃植民地がルサンビラから三十餘基米突の森林中に設定されたときいてブラジル在住者も母國人も口を尖らして罵り騷いだが、最近は七十基米突、百基米突と段々奧深く擴がりつゝある。

更に驚くべき現象はサンパウロ市附近の野菜農業であつて、コチアの馬鈴薯作りが芽を出し始めた十餘年の昔一アルケル五百ミル我百二三十圓であつた地代は、五六年後に一コント(我が二百五十圓內外)以上となり、今や場所によつては更に五倍七倍の騰貴を示し、生產物の集散地たるピネーロ市場も殆ど日本人の手で全權を左右するやうになつた。

この實例は他の方面にも日本人の同業者を輩出せしめ、フレゲヂア、オウヤイタケリやグレリウスや、チユケリーなどの近郊地を日に月に歩の勢ひで騰させて居る。而して其原因は勿論サンパウロ市自體の膨脹發達にあるが、同時に交通機能の進歩に刺戟された結果でもある。

私は曾て描いた空想が意外にも速かに實現したことを愉快に思ふ

面白いのはブラジルに於ける自動車燃料の石油と共に鐵道所要の石炭に關する點である。ブラジルでは夙にこの富源の調査等に開發に注意して居るが未だ國內の需要を充たすべき豐坑を發見し得ない。其間石油に附物の無軌の交通機能だけは盛に北米から入り込み之に使用する燃料も亦加速度に輸入高を增しつゝある。

一日躊躇した便宜は到底之れを止し若しくは廢棄する事を肯さない交通の發達を促し、之に依つて滿た事と其燃料との寶込に依つて國內道も敷設して居ない米國が、自動車を通して其の國に大なる勢力を扶植しつゝある

カーチフ炭も漸次米國炭に蹴おされて來たことである。斯した風潮は國際的經濟政策の重要な一面を示すもので、同じく資本主義の現はれとしても、大戰前の歐洲外交と戰後の覇權を掌握せんとする米國のそれとの間に大なる懸隔がある。

卽ち一は勢力範圍の設定と搾取主義とに依つて商利を獲得せんとし、他は一般的誘導方針に依て自ら利權の溢出を招くは資金の高利貸と見られ易いが鐵道問題である勿論時にはさう思はれても躊躇すべからざる場合もあるが、併し斯る誤解を招く憂ひなくして同樣の實績を擧げ得る經濟的の進歩をも考へねばならぬ。

私は從來ブラジル內に一哩の鐵道も敷設して居ない米國が、自動車を通して

南米拉丁國の間にあれほど好かれなかつた米國の汎米主義が經濟的に知らず識らず前者を征服しつゝある所以は蓋し偶然でない。而してこの大勢は私に今後の對支對米政策の注意點たるを思はせる諸言であらう事を信ずる。

而して斯うした對外經濟方針は米國の如き富强の實あつて始めて採り得べき者としても或一國內に於て第三者がまに勢力圏を協定し合つた舊式外交を打破するに十分であらう。否そう思はせる處が正面から反對出來ぬ米國外交の强味がある。之は決して日本が盲目的に追隨すべき事柄でないにしても、强てそれに反抗逆歩せんとするのは不利益である。

私は別に茲で外交論をする譯ではないが、米國の資本主義と日本人の海外發展策とが天下到る處に多少の交渉を有つて居るのを見て思はず所懷の一端を披瀝した次第である。

満洲日報 地方版

奉天

花に醉ひ 溫泉氣分に浸る

會員百數十名集めて

鎭江山櫻狩の一日

安東鎭江山の觀櫻會は我社奉天支社及奉天日々新聞社主催、奉天鐵道事務所並に東亞煙草會社後援の下に廿八日の日曜を期して擧行された、日和見をしてゐた會員はこの日曜は花見に相應しい好天氣であると云ふ確報を得たので出發間際に多數參加を申込み來り非常な盛況を呈し、一輛數時設車內に納まつた會員百數十名には婦人子供まで

多數加 はつて廿七日午後十一時あこがれの觀櫻の途に就いた、鷄冠山附近で窓外が明るくなる、惠まれた好い天氣である、安東驛に着いた時は廿八日朝六時半、草葉安東支局長が滿日の旗を立てゝ一行を驛まで出迎へた、朝飯が濟むと市中に入るもの鎭江山に向ふもの將又鴨綠江見物に行くもの夫々自由行動である、正午頃鎭江山に向ふ、櫻花は一寸早いが日曜だけに夥しい見物人がこゝかしこ花に浮れ酒に醉ひある限りの快を盡してゐる、かくして

花に浮 かれてゐること三時間、それから午後四時安東驛發五龍背に向つたもの四十餘名、ゆつくり溫泉氣分に浸つて午後十時五十分安東から來た專用車に一行と合して名殘りを惜みつゝ別れを告げた、かくて廿九日朝六時半無事奉天驛に到着解散した、今回は東亞煙草會社から態々會員に對して多數の煙草を寄贈あり一行を喜ばしめた

支那人嫖客が強盜に早變り

素見露人を射擊す

十間房鮮妓樓にて

廿七日午後九時二十分頃十間房朝鮮料理海東館に二名連れ支那人の素見客來り一旦歸つたと思ふ間もなく又入り來り酌婦すみ子を相手に一時間の遊興をなし立ち去つたが、又も二名入り來り今度は強盜に早替りして同館の妻女趙境玉を脅迫し現金十四圓その他借用證書、約束手形、貯金通帳等入りの折鞄を強奪し、折柄素見に來た浪速通牛皮露商古賣財兄弟商會スワチヨーフの左手に全治二週間の貫通銃創を負はせ北市場方面に逃走した、急報により警察では犯人嚴探中である

好天氣に惠まれ盛況を極む

廿八日開催された全奉陸上競技大會

全奉天春季陸上競技大會は豫定の如く二十八日午前九時より醫大グ[illegible]…たが此の日絶好の運動日和で多數の觀衆であつた、圓盤投は昨年の記錄を川野君が卅四米突六一で破つた、當日の呼物八百リレーは醫大對敎專の二チームにして最後まで接戰肉薄し緊張したゲームであつたが醫大遂に敗れ僅か一米突の差で敎專が勝つ、因に成績は左の如くである

▲一〇〇米一着今井(醫)十一秒五分三二着光野(敎)三着小林(敎)▲八〇〇米一着林(奉中)二分九秒五分二二着河村(市中)三着橋瓜(敎)▲砲丸投一等川野(敎)十二米七七二等中西(醫)十一米二四三等難波(醫)十一米一〇▲千五百米一着林(奉中)四分四二二着成毛(醫)三着横山(電氣)▲走巾跳一等小林(敎)五米六四二等河村(市)五米六二三等古家(市)五米五八▲四〇〇米一着河村(市)五七秒五分二着松永(機關)三着百東(醫)▲二〇〇米一着今井(醫)二三秒五分三二着光野(敎)三着吉岡(醫)▲圓盤投(新記錄)一等川野(敎)三四米六一二等市岡(奉中)三等伊藤▲五千米一着成毛(醫)一八分一六秒五分二着平山(市中)三着横山(電氣)▲走高跳一等晴山(醫)一米六〇二等伊藤(奉中)一米六〇三等宮田(敎)一米六〇▲ハンマー投一等十川(醫)三四米四二二等伊藤(奉)三等河野(敎)▲八百米リレー敎專一分四一秒五分二▲ローハードル一着宮田(敎)二八、五分二二着松永(機關)▲棒高跳一等伊藤(中)三米三〇二等宮出(敎)三米二〇三等渡邊二米七〇

醫大工大の對抗競技

一日に選手の推戴式

來る五月廿五日から三日間奉天で擧行される滿洲醫大と旅順工大との對抗陸上競技は滿洲における各種競技中各方面に非常に期待されて兩者とも必勝を期し猛練習を續けてゐるが、先づそのスタートを飾るため五月一日午後四時から醫大體育館に於て嚴肅なる選手の推戴式を擧行することゝなつた

輸入組合の商品投賣

大に期待さる

奉天輸入組合では事業部の活躍として各市中商店の在庫品、ローズ品の投賣りを五月二十六、七の兩日公會堂に於て開催することになり着々準備を進めてゐるが、城內賣出しは六月六、七の兩日に決定した、尙投賣品は市價の五分の一位のもので意外の掘出しもの等あると云ふので期待されてゐる

人事

▲立川奉天署警視　廿八日虎石臺往復
▲香川第三十旅團長　廿八日過奉鐵嶺へ
▲周四洮鐵路局長　廿八日四平街より來奉
▲イワレタリ氏(駐支ポーランド公使)　廿八日過奉內地へ
▲大分中學生百六十五名　廿八日撫順より來奉大丸旅館
▲中津商業生百名　廿九日撫順へ
▲鈴木奉天鐵道事務所長　廿八日歸奉
▲山口同次長　同上

開原

在鄕軍人分會の象牙山登山行軍

絶好の春の日に惠まれて 廿八日の日曜に決行

開原軍人分會主催の象牙山行軍は懸念された天候も晴れて風も靜かな好日和の二十八日乘馬隊は奈良中隊長日高中尉佐藤憲兵隊長前田署長淸水局長川崎所長三田院長一行十騎午前六時開原出發軍人分會員靑年團員一般有志八十餘名は午前八時四十一分開原驛發列車にて中固驛に着騎馬隊を先頭に出發中固驛東方柳家塞の松林を過ぎ山又山谷又谷を越えて十旺溝の裏山一帶の全山杏樹滿開の美事な眺めに再び山の背つたひに前進し南象牙山に辿り着いたのは十一時四十分であつた、山上何等設備なく下山して楡樹溝の一軒家に湯茶の用意を整へ前方一帶に象牙連山五峰の勇姿を眺め行程の難易を談じつゝ何れも愉快に中食を喫し休憩したる後午後一時三十分

同地 を出發歸途に着いた一同元氣旺盛で中固驛に歸着したのは五時頃で一同は橫地佐藤兩家へ陣取り兵站部の用意せる酒肴に意氣益々上り當日の功名や失敗談に花を咲かせ午後八時中固驛發列車にて同二十三分開原驛着萬歲を三唱して散會した

天長節祝賀會

二十九日午前九時開原神社に於て天長節祭典を壯嚴に執行され、同十時開原小學校講堂に於て天長節拜賀式を擧行され同十一時三十分公會堂に於て天長節祝賀會は盛大に擧行され出席者日支官民三百餘名の多數に上り盛會裡に一時半頃散會した

正隆常務招宴

正隆銀行常務取締役高橋勇氏は二十七日夜來開し翌二十八日晩官民有志を二葉に招待新任の挨拶をした

熊岳城

軍人分會總會

既報の如く熊岳城在鄕軍人分會總會は天長の佳節を卜し午後零時より滿鐵倶樂部に於て開催されたが軍人勅語の捧讀(古川舊會長)あり引續き役員の選擧を行つたが左の諸氏を任命した
在鄕軍人分會長石原正規氏、同副會長高杉英男氏、幹事生田淸久、大塚義雄の兩氏

…四日に娘々廟附近で行はれる筈

…多數に上つた赤[illegible]祝賀式は同十時より小學校講堂に於て行はれたが參會者百五十名先づ森軍民政支署長の皇運無窮を祈る挨拶に一同杯を交し天皇陛下萬歲を三唱して午前十一時散會した

廣谷氏歸國

今回一身上の都合に依り職を辭したる金州驛長廣谷源助氏は二十九日午前七時半の列車にて家族引纏め歸國の途に就いた

撫順

東三條西五條に夜店を出す

撫順の繁榮のために 二ツとも同時に許可

日毎濃くなり行く春宵と共に狹い撫順でも西五條、東四條、永安大街へとシヤンデイリーア輝く街頭に逍遙を試みる人がめつきり殖えた春夏夜の町と夜店それは東京、大連を問はず撫順でも離れ難い

關係 にある、昨年撫順では後藤氏を會長とする撫順繁榮會が東三條通に夜店を出して大連の浪速町氣分を描き出して非常に好評を博した、そのため今年も許可願を出したが一方松井氏を會長とする西五條商店會も西五條通に新規に夜店を出願した、双方ともに撫順全市の繁榮を計るのと小商人保護以外他念ないのであるがこの採否の決定權を握る大林署長は不公平のないやうな處置を執り度いと約一ケ月間なやみぬいた結果最近依怙贔負のないやうに

双方 へ同時に許可する事と決定した、同署長は語る
始め狹い土地の事であるから双方に許可するのは共倒になりはすまいかと懸念し夜店を出す場所を西五條、東三條と各日をきめ交替にしようかとも思つたがそれでは當事者の方で故障があると言ふので双方文句のないやうに同時に許可する事ときめた今年の實蹟を視た上

明年 からは各當事者と談合の上最善の策を執り度いと思ふ

見學團で賑ひ出す

暑からず寒からずの好シーズンと共に撫順見學團が洪水の如く押寄せてくる、二十八九日の兩日のみでも內地の學生團が四百名も見學に來た、まづ二十八日午前八時三十一分の列車では大分中學の健兒百六十五名、同日午前十一時には福岡縣の三池中學生六十名、廿九日朝八時の汽車では大分縣中津商業學校生徒九十名、及び福岡商業學校生徒八十五名が各敎師附添ひ內地では到底見られぬ古城子露天掘、オイルセール工場、發電所等を隈なく見學した、尙五月に入れば是等視察團が益々增加の旨內報ありビユーロー撫順案內所及び炭礦の接待係員はこゝもと眼の廻るやうな多忙さである

北滿の視察員

將來撫順炭の北滿進出を計る爲め及び內地方の現狀視察の爲め炭礦では五月十二日出發北滿視察員を約三十名派遣する事と確定した、同一行は打通線、昂洮線の各沿線を實査、齊々哈爾、ハルビン、吉林、敎化方面までも踏査するのであると

撫順の招魂祭を定例祭典とする

本年は五月五日に擧行

從來撫順に於ける招魂祭は佛敎團等一部のお祭りであつたが本年よりはオール撫順市民の定例祭典として盛大に行ふ事となつた、餘興其他の準備で本年のみは例外として來る五日に行ふが來年からは四月卅日午前九時から表忠塔前に行ふ事に決定した、因に今年の餘興としては銃劍術柔擊その他武人の靈を慰めるに足る武張つた餘興を大々的に行ふと

冬でも安價に菜果類を供給

菜果類貯藏庫新設

撫順小賣市場の中央への移轉問題は經費の都合上完全に立消えとなり現狀にて着々改善方針で進む事となり市場會社支配人大島勇氏は各地市場の長所をとるべく過般來奉天、長春、哈爾賓等各沿線の市場を視察中であつたが是等諸市場で採用してゐる各期間各需要者に安價に豐富な菜果類を供給すべく菜果類貯藏庫を約三萬五千圓で新設する事となつた右は野菜類の出廻り時期に比較的安價に仕入れ多期出荷杜絶した場合も安價に各需要者に供給する計畫であるが追々には是と共に魚類の冷藏庫も新設し豐富なる渾河の氷などを利用し各魚類の出荷の出盛り期に安價に仕入れ四期を通じて各需要者の便宜を計る計畫で市場改善と言ふも安價にして

豐富 なる供給力さへあれば相場の如何を問はず顧客をある程度まで吸收する事は至難でない故に不可能なる移轉問題などを夢みるより可能なる範圍でどしどし各需要者の便宜を計り且つ小賣商個々の營業繁榮策を講ずる方針であると

コソ泥橫行

二十九日午前七時二十九分市內東三番町撫順製材公司の裏の小窓を破壞侵入電動機用ベルト三臺分百二十尺時價金票百圓のものを竊取したものがあつた又同日午前十時永安大街三三太田和夫方では玄關先に置きたる時價四十圓の自轉車一臺を乘逃された

安東

花に浮かれて一萬の人出

鎭江山人で埋まる

降るかと危ぶまれた天候も前日から霽れて廿八日の日曜は理想的な觀櫻日和となつた、滿開にはまだ二三日早いが櫻の春の氣分に醉ふた人達は打ち連れて鎭江山公園目差してつめ掛けた

公園 に沿ふた路の兩側にはネグンド、白楊、うわみず櫻、から松等の靑葉がすがすがしい感じを與へて來れる、花はあんずが滿開、レンギヨの黃、つつじの淡紅が稍老たれど尙名殘りをとゞめ至る所に其の可憐な容姿を見せてゐる、此の日の人出約一萬、十時頃より漸次其の數を增し午後に至つては全山人を以て埋まる盛觀だ入口の露店軒を並べて先づ景氣を添へ、ヘンポンと飜る各團體の旗の下に集る人の群、幔幕を張りめぐらした中にさんざめく

絃歌 の賑はひ、此處、彼處に水入らずの一家がお辨當を開いて頰張る姿等、花よりだんごの諺を如實に現す抒景である、大きな團體としては三州會、郵便局、長野、秋田、山形各縣人會、四番通四六會、電氣區、全鷄冠山、鞍山滿鐵醫院、新義州、奉天及び安奉線各支所より集つた觀櫻團體等これに小團體、家族連れを合して全山時ならぬ雜沓を呈した、この日の天候は幾分風があつたが北風である爲め四、五日は

晴天 續きと云はれて居り觀櫻客には惠まれた日和であるからこゝ數日間は人出を豫想されてゐる

警務課の慰安會

本月中旬に行はれる筈であつた警務課員の家族慰安會は役所其他の關係で延期されて居たが來月三日に署員の定期召集があるので其…

貔子窩

金融組合總會

貔子窩金融組合の定期總會は二十七日午前十一時開會關東廳財務課より國島氏來貔組合員二百五十名出席民政支署よりは峰岸署長惠利總務課長其他臨席左記事項につき協議した
一、昭和三年度財產目錄貸借對照表、事業報告書餘利金處分案及監事意見書承任之件
二、監事及評議員選任之件
三、昭和三年度役員手當追認之件
四、昭和四年度以降役員手當之件
役員の選任に就ては從來監事評議員各一名缺員の處評議員より監事に一名評議員に新に二名計三名の新任役員が出來た譯である

鞍山

長唄美也古會

鞍山長唄研究美也古會主催の第六回長唄舞踊春季演奏大會は既報の如く五月一日午後六時三十分より赤城町演藝館に於て開演せらるるが其の番組は次の通りである、一般多數の來館批評を望むと
(一)舌出し三番叟(二)吾妻八景(三)春雨傘(四)鳥羽繪(五)春秋「一春の卷」(六)松の綠(七)小鍛冶(八)敎草吉原雀(九)都鳥(十)五條橋(十一)鳥羽の戀塚(十二)多摩川(十三)菖蒲浴衣、此外杵屋六眞津出演

人事

▲大連第一中學校生徒百三十名は二十八日午前九時十九分着列車で來鞍し製鐵所を見學した

財務課長來鞍

關東廳阪谷財務課長は既報の如く二十八日午前九時十九分着列車で近藤屬を隨へ來鞍したが驛頭には林所長、久下沼署長、加藤實業協會長、阪元理事其他の出迎へがあつた夫より直ちに北二條町實業協會事務所に案內し都市金融組合設立の事務打合せを爲し市中を巡視し懇親會を催した、同氏は二十九日湯崗子に於て天長節を奉祝し三十日遼陽に向ひ出發の豫定である

普蘭店

金融組合事務室落成

普蘭店金融組合は先般火災に罹り其の後民政署の一部に於いて執務中であつたが今回元小學校入口に事務所を新築する事となり漸く落成したので近く引移るべく落成式も同時に擧行する由

金融組合總會

普蘭店金融組合總會は二十八日午前十時より公學堂に於て開會した組合員約五百名來賓其他多數出席定刻組合長開會の辭を述べ次で三年度財產目錄貸借對照表並監事の意見書承認、定款變更の件附議し異議なく決定次に評議員一名選擧の件役員手當の件を決議し終つて民政署長の祝辭來賓の祝辭等あり閉會更に別室に於て晝食の饗應ありて各自退散した因に評議員は川崎覺次氏に決定した

興風會の組織

普蘭店在住官民有志發起の下に興風會なるものを組織し主として生活の改善を圖り合理的に勤儉節約を奬勵する爲め實行要目十三項を擧げた

鐵嶺

結核豫防デー

二十七日は結核デーなる爲警務課では各要所に宣傳ビラを貼付し各戶に就き注意を促した

鐵嶺の結核患者 三年度では增加

在住者の三分に當る

肺結核に罹る人は同胞三分に一人宛と聞いては戰慄せざらんとするも能はずであるが茲二ケ年に於ける鐵嶺での結核患者は在住人口の約三分の多さに及び一昨昭和二年の疾患者總數三、二九二人中呼吸器患者は六九六人で此の內五一人が結核患者であつた、超えて昨三年の患者總數は五七四二人呼吸器病者一三六一人中眞正肺病者は八三人と增加した次ぎに昨三年中の死亡者について見るにその總數は約百人であるが此の內四十人が呼吸器病に依り而も十七人は結核で其の他の廿三人も何れも肺炎に因る死亡者である

憲兵隊長來往

二宮憲兵隊長は廿六日午後十二時廿一分上り急行にて來鐵江草當地分隊長の先導にて各方面を歷訪挨拶した後同六時三十分發上り列車にて南行した

警察署員詰換

過般三巡査の責任に依り缺員を補充されて鐵嶺署では廿五日附署員の詰換を行つたがその異動は左の如くである
飯田賀郞(西派出所詰)▲松本登尾市太郎(驛派出所)▲福岡富友(同)▲平正實傳一(同)▲遠藤主計(直轄)▲本田政男(得勝臺派出所)▲專門英一(敷島町派出所)▲樋渡會一郎(城內派出所詰)

駐劄隊の歡迎會

廿五日夜公會堂に開催された鐵嶺官民主催の新駐劄軍事歡迎會は准士官以上の三千餘名を招待主客共に着席するや近藤領事代表して歡迎の辭を述べ來賓代表香月旅團長の謝辭を極めた謝辭あり新駐劄軍人には珍しい支那料理の宴を開き萬安、ホテル、各樓聯合美妓の餘興出演あり充分の歡を盡して八時頃散會したが市民側の出席者百五十名に達し盛會を極めた

金州

鮮人の爲替詐欺

朝鮮水原の郵便局員 目的を果さず捕はる

去る二十五日午前九時頃金州驛前の郵便所に一名の朝鮮人が來り額面百圓の通常爲替を示して受取りに來たので三浦郵便所長は該爲替券を入念に調べたる處現在で何處の郵便局でも照會する事は

稀れ なるにかゝはらず持參せし爲替券は金州驛前郵便所と肉太々に記書してあるのに不審を抱き早速爲替振出通知を調査したる處かゝる通知は一枚だにない爲めてつきり詐欺犯人と目星を付け一應本人へは未だ爲替振出の通知がないから照會するから歸宅するやうにと言ひ含み歸宅せしめた直ちに振出局に電報を以て照會し返電の來るを待つ內にも該鮮人は三四回も未だ來ぬかくと催促する矢先振出局よりかゝる爲替を振出したることなしとの返電があつた爲早速警務課に急報八方手を

擴げ て搜査したる結果與町の鮮人の友人宅に潛伏中を同日午後十時難なく逮捕本署に連行の上嚴しく尋問の結果朝鮮水原郵便局の局員で與忠[illegible]なるもので爲替は朝鮮全州本町郵便局の受取局なりしを金州驛前郵便所と巧に訂正せることを白狀した

人と花とで埋まる三崎山

快晴に花を目指して浮かれ出た人の群

例年の滿開時期に雨に祟られる三崎山の櫻も廿八日の日曜は朝來の快晴に惠まれて花も滿開となり前夜から用意された警務課員の家族會も續々と押掛け引續いて一日の

◇…**花見** も珍らしい快晴に惠まれて最も愉快に一家團欒三々伍々と離散したが未曾有の人出に乘物も不足を生じて非常な混雜を呈した
斯くして日永き春の

◇…**淸遊** を許された內外人の一團も詰掛け公學堂民政署連中も次々と入來午後には早無慮數百名の花見人を算し之に加ふるに大連遞信局員又は大連市民の連中が遠征して狹き三崎山も立錐の餘地なき迄に未曾有の雜踏を呈しつゝ所々に起る浮かれ節期せずして打つ拍手に愈花見氣分は高潮して今日ばかりは極樂世界である警務課員の家族競爭にも花に浮かれた千鳥足で益々興味をそゝる

結核豫防宣傳

二十七日午前十一時當警務課では課員十數名が數臺の自動車に分乘し宣傳ビラを撒いて徹底的に結核豫防に努めた

天長節祝賀式

天長節の參加式は午前九時より民政支署長之を受けたが參賀者は民政支署員を始め市民側中國人側の…

家庭研究會設立を準備

滿鐵社會係多年の懸案であつた家庭副業研究所設置の件は過般社會主事會議に出席したる鈴木主事の奔走によつて愈設立に決定近く其準備を開始する筈であるが副業研究は主として子を持つ家庭婦人の爲めに子供服の講習と手藝の研究を第一に着手する由なるが敎授料としては月五十錢位を徵收し使用のミシンは社會課より貸與し子を持たぬ婦人の爲にも何等かの相應しい副業を授ける計畫であると

哈爾賓

端午節に武道大會

哈爾賓運動倶樂部、誠志會及び協會學校武道部の主催で來る五月五日の端午節を卜し午前十時から日本人小學校々堂において柔道、劍道、銃劍術などの春季武道大會を催し優勝刀の爭奪仕合を行ふ筈である

民會評議員會

居留民會では三十日左の議案について評議員會を開催した
一、郵便貯金並に爲替事務取扱に關する件
一、賦課金にする件

就職難で自殺

原籍山形市六日町三河眞太郎はついこの程安達から來哈して埠頭區ベカルナヤ街四十五號地に部屋借りをして住んでゐたが思ふやうに就職口がなく生活に苦んでゐたが遂に厭世の結果廿七日朝多量の麻睡藥を嚥下して自殺を計り午後四時半死亡した

人事

▲松岡滿鐵醫院事務長　事務打合せのため廿六日夜行にて赴連廿九日歸院の筈

遼陽

新駐劄軍隊最初の觀兵式

杏花漸く滿開の中に 廿九日莊重に行はる

滿洲駐劄第十六師團當初の觀兵式が廿九日午前十一時から遼陽昭和通りで擧行された、定刻松井師團長は幕僚を隨へ馬上で堵列官民に擧手の禮をなしつゝ臨場高田諸兵指揮官の申告を受け參列部隊の閱兵をなし終つて分列式敬禮の場所に位置すれば日露戰役當時遼陽戰の先登部隊として南門外附近に於て奮戰苦鬪九百餘名の戰死傷を出し遼陽城占領の先驅をなした名譽ある步兵第廿聯隊旗を先登に嚴肅なる分列式が行はれ午前十一時三十分終了した此の日曇天ではあつたが昭和通りから白塔公園の杏は滿開五千の在住民は此の壯觀と觀花を兼ね殆ど參觀せざる者なき盛況であつた

この佳き日に各地の奉祝

沿線各市民の赤誠

奉天 廿九日奉天における天長節當日は朝來どんより曇つた天候は降雨が氣遣はれたが正午頃より晴れ、各學校その他官衙團體等では午前九時から奉天神社では午前十時から遙拜式を擧行し、午前十一時十分忠靈塔前に於て駐劄隊、守備隊、在鄕軍人、醫大、敎專、奉中、靑年團、靑年訓練所、少年團、高女生の分列式があり、更に午後零時半から奉天市民の祝賀會が公會堂に於て開催され、總領事館では午後六時各方面を同館に招待し盛大なる祝賀會を催した、猶一般市民は軒頭國旗を揭げ祝意を表した

遼陽 天長の佳節に遼陽の官民有志約二百名は正午公會堂に集合參會者一同祝杯を擧げて陛下の聖壽無窮を壽ぎ奉り零時四十分散會した、また遼陽領事館では天長節當日午後五時から館內に松井師團長を初め官民百數十名を招待陛下の聖壽無窮を壽ぎ奉るべく夜會を催した

撫順 聖上陛下の御誕辰を慶き奉る二十九日の佳き日撫順に於ては各小中女學校とも午前九時から守備隊側では午前七時から拜賀式を催し警察側は署內樓上に於て恭しき拜賀の式を行つた、昨年の天長節の間近の頃大山坑變災の爲心からこの佳辰を奉祝し得なかつた撫順炭礦關係者は今年は思ひきつて心からなる祝意を表する事となり家族會を開いた夫々思ひ思ひの場所に盛な…

熊岳城 二十九日は大氣うらゝかに長閑な…日支各戶では日章旗及び靑天白日旗を飾り滿腔の祝意を表した、午前十時小學校にての拜賀式には多數の居住民參列し型の如く靜肅な式は進行した

哈爾賓 當地總領事館では二十九日の天長節當日午前十時から十一時までは邦人一般又零時三十分から一時までに外國側の拜賀を受けた

營口 當地の天長節拜賀式は二十九日午前九時から同十時迄の間に領事館に於て行はれ官民多數の拜賀あり同十時半よりは小學校に於て兒童及居住民の拜賀式あり同十一時より營口神社の祭典あり同十二時より公會堂に於て全市民の奉祝宴があつた、午後一時よりは荒川領事の領事館に於ける支那側及外國人の招待宴あり交涉員其他の支那側官民及外國人多數列席し同七時よりは一般市民の招宴があつた

鐵嶺 二十九日鐵嶺では左の如く天長節を奉祝した
午前八時より神社にて遙拜式
同九時より小學校に拜賀式、
同十時より領事館に拜賀式、
午後一時より領事招待園遊會
午後五時より官民合同祝賀宴

普蘭店 普蘭店小學校は工費十萬圓にて新築中であつたが大體の工事落成したので目出度く天長の佳節を此の新校舍で奉祝した

吉林【吉林特電三十日發】天長節當日は風ありて寒きも天氣淸朗にて好日なり、この日午前九時より小學校に於て御眞影拜戴式を行ひ栗野校長、山本社長の訓示の代讀をなし次いで拜賀式あり十時より總領事館に於て遙拜式ありてのち官民の祝賀宴あり午後二時より民會樓上にて催されたる一般祝賀あり參列者多數鑑者の手踊り等もあつて賑やかであつた

旅順 旅順に於ける天長節拜賀式は午前十時から關東廳にて木下長官奉伺のもとに行はれ亦其々擧式あり正午は市民一般の拜賀式を昭和園で開催し聖壽の無窮を祝し奉つた、この日天氣淸朗うらゝかな春光に市中は和氣靄々のうちに包まれた

ためになるおはなし

家庭編 (五十一)

如何して音は反響するか?

これからの暖かい晴れた日には遠足や山遊をする日があるでせう。山へ入つて谷などで、遠く先へ行つたお友達の名前を呼んだりしますと、何處からか、同じ様に呼ぶ聲が聞えるでせう。『おーい』と呼ぶと、又彼方から『おーい』と呼ぶ聲が聞えて來ます。誰か、谷の蔭に隱れて居て、此方の呼ぶ聲を眞似して居る様にも思はれて、初めて聞いた方は妙な心持になるでせう。これが、反響と云はれるものであります。

ゴム毬を壁に投げつけると、はづみをうつて、ポーンと此方へ歸つて來るでせう。聲がむかうの谷の岩などに當つてかへつて來るのが、こだまになつて聞えるのです。

海の水が波になつて押し寄せて來て、岸の巖にあたると、又沖へ波になつてかへつて行くでせう。

熱も、光も、聲も、波になつてわたつて行くのです。これが何かにつきあたつて、むかう側へ突き抜けられない時は、反射します。引つかへすのです。

音もこれと同じ様に波になつてわたつて行きます。この波が、防ぎとめるものに打ちあたりますとはねかへつて、引つかへして來るのです。

音が何かにとめられると、反射します。若しあなた方が、岩の壁を背にして立つてる時、又あなた方の前に、少し離れて、岩の壁があるとします。そこで聲をたてゝごらんなさい。すると、背からも前からもこだまが聞えて來て、繰返して聞えて、しまひになくなると云ふこともあります。

道の兩側に高い石垣のある處へ立つて、手を打つてごらんなさい此の音がいくつもこだまになつて聞える様なことにはならず。丁度水の中へ石を投げた時いくつも其の波のまはりに波がひろがります様に、此の音に影がついて聞えます。これもこだまの一種であります。

こだまと云ひますのは、山の中などで、聲をたてる時、反響が聞えます、これを木に魂があつて、これがその聲をまねるとでも思つて、木魂と云ふ名をつけたのだらうと云ふことです。

戸外の樂しい時

四月三日の神武天皇祭がすみますと、もうやがて櫻になつて來ます。一年の中でも、先づこんな陽氣な季節は他にございますまい。

戸内でじつとして居られないくらゐに元氣が出て來ますから遠足とか、運動會なども盛に催されますし、スポーツを觀に行つたり日の暮れるまでお友達と戸外で種々の遊戯をして時の過ぎるのに氣がつかずに居ることが多くなります。

夕暮に歸つて、戸内へ入りますと着物には埃がいつぱいついて、お顔や手先まで、此の埃と汗で、ねと／＼する様な汚垢がついて居ります。

着物の埃をよくふるつて、刷毛で落し、お手入をしておしまひになりましたら、お湯へ入つて、ミツワ石鹸の泡沫で、頭から足の先まですつかり洗ひ清める様にしませう。

ミツワ石鹸は水にも溶けます。お湯でも溶け過ぎる様なことはありません。白い細かい泡が澤山出ます。これを浴槽から出た汚垢のついた膚へ塗りまして、静かに擦でますと、此の毛孔や皺の細かい處まで、此の石鹸の泡が入つて行つて、膚と汚垢の間へ入つて、此の汚垢をぐるりと取りまいてしまひますから、もう汚垢は膚につくことが出來ません。これをお湯をたつぷり含ませたタオルでおさへつける様にしますと此の泡に圍まれた汚垢はきれいに流れてしまつて、いき／＼とした膚が磨き出されます。體も心持も輕々となりますから、よく眠られて明日は勉強もよく出來ます。

□お花見□

お花見の頃は、輕い風が吹きます。丁度冬の間雪や霜でごろ／＼に融された土が、乾いた處へ、此の風があたりますから、その埃の立つ事は、いつもよりひどい様です。ですからお歸りになつたら、着物から此の埃をよくふるつて刷毛で、織目へ入つて居る埃まですつかり落しましたら、袂へミツワ香嚢を一袋づゝ入れておしまひになる様にしませう。此のミツワ香嚢を入れて置きますと、着物につく虫が嫌つてつきません。又これから雨の降る時出來ますかびも防ぎます。今度出して此の着物を着ますとき、懐かしい移香がついて居りますから、その頃の樂しい事がそれからそれへと思ひ出されて來ます。

櫻は一重が咲いたと思ふと、やがて散つて行きますが、その中に八重が咲く、櫻草が咲く、蓮華草が咲く、草も木も鮮やかな芽が萌えて來ます。吹く風も軟かで日影はほか／＼と暖かで、鳥が樂しげに何處かで囀つて居ります。

考へ物 1929

□考へ物□

一羽取り殘さされた雛はどの道を通つたら中間の處へ行かれます

コドモページ 成績紙上展覽會

うれしい出來事

遼陽小學校尋六 小杉セツ子

日曜日の朝の事。時計が、四時をうつた。何だか、内の中が、ざわ/\して來たやうだから、何事がおこつたかと思つて目をさました。「どうしたのですか?」ときくと、お父さんは、小聲で、「今、お母さんが、赤ちゃんをうむやうだといつてゐる。」と言はれた。私はびつくりした。昨日まであんなにぴん/\して元氣であつたのが……すると、お母さんが、そろ/\と、こつちへいらつしやつて、「あゝ何だかおなかがちく/\していたい」と、おつしやつて もう、立つてゐられなくなつたやうに、又、とこの方へ、もどつた。私は心配でならなかつた。其の中に妹も目をさました。私は妹に、その事を手早く話した。

お母さんは「あなたもうさんばさんの所へでんわをかけてくれませんか」お父さんは「よし!」といつてねまきをすばやく着かへて出ていらつしやつた。私はお父さんのかへりをまちあぐんだ。それから十分ぐらゐ、たつてからかへつていらつしやつた。お母さんは「でん話をかけましたか?」ときくと、「うん、あつちは、支那人だつたから、中々、言葉が通じなかつた……とおつしやつた。大分してから、さんばさんが行らつしやつた。そうして私達のねた所と、おざしきのさかひ目のふすまをしめた。さんばさんと、お母さんが何かこそ/\話をしてゐた。それからだいぶたつてから、

「早く/\」といふ聲がした。其れと同時に「オギヤー/\」大きな聲で、赤ちゃんのなきごゑがした。お母さんは、少し、御かげんがわるいらしい。お父さんは、「せつ子、早くおいしや樣をよんで來なさい」とおつやつた。私は、ねまきの上に、まんとを着て、すばやく、うら口にある大きな下駄をひつかけて、かけだした。おいしやさんの内についたが、戸があかない。ドン/\/\/\ごめん下さい/\/\よんだが、一向出てくる樣子もない。私は、今度窓を、たゝいた。すると、しばらくして出て來た。私は今の出來事を手みじかに話した。そうしてとんで内へかへつた。お母さんはもう大分いゝやうだつたガラス窓から見てゐると、おいしや樣は大またではしつてゐらつしやつた。私はやつと、むねをなで下した。やがてふすまもあけた。赤ちゃんを見ると、男の子でまる/\こえてゐた。私はうれしくつてならなかつた。

寫生(水彩)

大廣場小學校四年 山本重男

ダンス

大廣場小學校三年 杉山幸子

四月十四日は朝からばんまで、あそぶひまや、べんきやうするひまがありませんでした。それはその日、りくぐんのへいたいさんに、私たちのダンスを見せる日でした。私は朝七時ごろおきて、かほをあらつてごはんをたべる時、むねがどき/\して、ごはんがたべられませんでした。お母樣が「幸子そんなにしんぱいしなくてもいゝよ。まちがつたつて、へいたいさんだから、はづかしくはないよ」とおつしやいました。けれども、私はむねがどきどきしてしようがありませんでした。ごはんをたべて、さんばつやにいつてから、村岡さんのところに行きました。そしてダンスやをどりをする人があつまつてから、大連げきじやうに行きました。行つてから、ダンスのようふくを着て、ダンスをしました。ダンスをするところに小さいだいをおいてありました。私はその上でダンスをするのです。私はダンスをしましたダンスは前からうしろにさがつてくるので、その小さいだいからおちさうになりました。その時へいたいさんがわらひましたので、私ははづかしかつたです。私はもう一つのダンスにも出ました。それはおんまでした。おんまは六人でするので、私たちはそろつたようふくを着るのでしたが、四月十四日にはまにあはなかつたので、自分たちのようふくでダンスをしました。このつぎの二十九日にきやうわかいかんでまたするのです。

童謠 もうこかぜ

大廣場小學校二年 堀義彦

ピユウ ピユウ
大きなこえたてる
あばれんぼうの
もうこかぜ
ぼくが がくかうから
かへるとき
お池に
おつこちさうだつた
おふろのえんとつ
まがつたよ
あかちやんのおしめが
とんぢやつたよ
おにはのアカシヤも
おれちやつた
あばれんぼうの
もうこかぜ

ボウヤ

伏見臺小學校尋二 山元ノリ子

キノウ ボウヤハ ニイチヤンノトコロニイツテアソンデヰマシタ。ニイチヤンハ本ヲヨンデヰマシタ。ソシタラ ボウヤガ「チヨツトウチヘカヘツテクル」トイツテ出デイキマシタ。ボウヤハウチヘカヘラズニトコヤニイツテ、イキナリ「ボウズニシテクレ」トイツテヘイツテイキマシタ。ソシタラオバサンガ「オカアサンガソウイツタノ」トイヒマシタ。ボウヤハウソヲツイテ「オカアサンガボウズニシテオイデトイツタヨ」トイヒマシタオバサンハホンタウカトオモツテボウズニキリハジメマシタ。ボウヤハキツタケヲテニモツテワラツテヰマシタ、オバサンガ「モウスンダヨ」トイヒマストボウヤハ「サツパリシタ」トイヒマシタソシテニイチヤンノトコロヘカヘツテイキマシタ。ニイチヤンハマダ本ヲヨンデヰマシタ。ボウヤハ「ニイチヤン、ボクボウズニナツタヨ」トイフト、ニイチヤンハ ボウヤノアタマヲミテビツクリシマシタ。ソレカラウチヘカヘツタラ、オカアサンモビツクリシマシタ。ソウスルト ボウヤガ「ボクナンダカオカシイノダ」トイフト オカアサンガ「トラナイホウガヨカツタデセウ」トイヒマスト「ボクネヤツパリトツタホウガヨカツタ」トイヒマシタ オカアサンハカナシミマシタ。

オルスバン

伏見臺小學校尋二 畠山タイ子

ユフベ オトウサント イモウトト私ト オルスバンヲシマシタ ミンナデ ニカイニアガツテ、モウフヲシイテ ガクゲイクワイヲシマシタ。イモウトハ ドンブラゴツコヲウタヒマシク。私ハクライミソラヲウタヒマシタ。オトウサンハ「ゴタツゴツコ」ヲシマセウトイツテ、オフトンヲシイテネマシタ。私モイモウトモ オトウサント一ショニネマシタラ、スグネムツテシマヒマシタ。アサオキテミルトマクラモトニアカイハナヲノゲタガアリマシタカラ、トビオキテハイテミマスト、チヨウドヨイクライデシタ。イモウトモゲタデシタ。ソレカラオカアサンニドコニイキマシタカトキキマスト、ナニハチヤウニイキマシタトイヒマシタ。

ねずみ

沙河口小學校尋三 杉原玉代

ねずみはまい日
いそがしい
まいにちまいにち
ちゆうちゆうと
おいしいものを
ぬすみだし
すまないかほして
たべてゐる
をばさんおこつて
ほうきもつ
もつてどしんと
たたいたら
ねずみはちよんと
いつちやつた
ねずみのかあさん
ひげはやし
そのくせどろぼの
めいじんだ
かあさんあかちやん
うまれたら
ちゆうちゆういつて
ないてゐる
なくのとわらふのと
どつちかね。

コヒノボリ

大廣場小學校尋一 堀英子

タカイオソラノ
コヒノボリ
ヒゴヒトマゴヒガ
アガツテル
コヒノアカチヤンモ
アガツテル
キンノウロコヲ
ピカピカサセテ
カゼニフカレテ
オヨイデル
カラダヲユスツテ
オヨイデル

母國見學旅行記

旅の最後の日…… 京城の一日

―四月六日(第十九日)―

彌生高女旅行團 松野くに子

朝鮮鐵道當局の御厚意に依つて定員八十名の一車を私共一行の爲めに提供されましたので昨夜は充分に眠ることが出來ました五時過ぎに醒めますと美しい朝日は喜々として車窓を照して居ります。洗面を終つて邊の風光を眺めます。禿た山、小さな家、白衣の人―何と單調な

殺風景

な景色でありませう、内地の美しい山川に接して來た私共は特に感が深う御座います。私共は一樣に「物足りない」と言ふ感を抱かずには居られませんでした。

朝七時に京城に着きました。一先づ原金旅館に荷物を下し朝食を採りました。京城第一高女の先生が態々私達の爲めに案内の勞をとつて下さいます。九時頃宿を出發して京城の見學に出掛けました。何となくのんびりとした京城の町、呑氣さうな

白衣の

人が特に目に着きます。南山公園に上り京城の市街を大觀いたしました南山と北漢山との間に挾まれた京城市街は思つたより廣く立派に見うけました南山々腹を切り開いていと壯嚴に建てられた朝鮮神宮に參拜いたしました。

南大門を通り德壽宮の前を過ぎ電車で朝鮮總督府に參りました白堊の堂々たる五層の建物、内部を隈なく案内されました。六百萬圓を投じ

約十年

を費して出來た大建築ださうで特に大ホールは美しく立派でありました。そこを出て裏手に當る景福宮の御苑を拜觀いたしました。明治の初年大院君の攝政時代外國に誇るべき唯一のものとして建てられた慶會樓は周りの靜かな池面に影を落して居りました。博物館に古朝鮮以來の多くの古物を見再び電車で昌慶園に參りました。そこで

晝食を

濟まし、秘苑を拜觀いたしました。自然的の餘り人工を加へない立派な廣い庭園でありました。植物園を見て更に動物園に行きました、上野の動物園よりは小さいが可成り多くの動物を集めてあります、ライオンも象も居ります、河馬も居りました。大體の見學を終へて宿に歸つたのは五時過ぎ入浴、夕食を終へて妓生を呼んで標準的の朝鮮踊りを見る事になりました。よく繪はがきにある樣な

綺麗な

服裝の妓生が悲しさうな樂器の音につれて踊りました「春鶯舞、僧舞、劍舞」の三つ、何れも單調な力のない踊りでありました。何となく朝鮮民族の歷史を如實に表現してゐるやうに感じました。やつぱり活氣ある民族の踊りは力あり變化あるのが自然でありませう、京城の夜景を見に出かける人もありました。之で拙き私達の旅行記を終る事といたします。終りに此の拙文を連載して下さいました滿洲日報社に心から御禮申上げて擱筆いたします。

全滿蒙鐵道驛傳競爭
北滿方面の各鐵道 多大の贊意を表す
各方面からは盛に激勵

五月中旬を以て決行することとなつた本社主催の全滿蒙鐵道驛傳競爭は從來試みられた單なる鐵道の早まはりとは全く其意義を異にし、大滿蒙を背景とする三千三百餘哩の國際的場面に於て紅白兩班十名の

選手が

參加するリレーであること、その踏破する鐵道が民營あり、官營あり、半官半民ありて日、支、露三國にまたがつて各性質を異にし發着時間の如きも正確なるあり、不正確なるあり、時刻に於ても西伯利時間と滿洲時間とで一時間の差がある等到底日本内地の如きダイヤグラム作製の巧拙のみによつて勝敗が決せらるべきものでない點に興味は注がれ、計畫の發表以來本社に對し滿腔の讚を寄せ或ひは成功を祝福する等の書面は各方面から寄せられ、社員は感謝の念に包まれつゝおさく準備を急いでゐるが、四月二十二日大連を發し北滿方面の各鐵道に

諒解を

求め且つ計畫遂行についての視察調査に出張中であつた武田本社社會部長は二十九日朝「各鐵道とも白熱的大歡迎」の喜報を齎して歸社した、氏の訪問した鐵道は東支、呼海、吉敦、吉長、四洮、洮昂、吉海の七鐵道であつたが何れも多大の贊意を表し參加選手通過上の便宜を與へ出來得る限りの援助をなすことを快諾したのみならず、進んで後援者として名を列ね計畫成功のために協力援助することをも快諾したが、近く氏に代つて細田整理部長が

北上し

奉天方面の各鐵道に向つて同樣諒解を求め且つ調査視察をなす豫定であるが京奉、奉海等の各鐵道も亦北滿各鐵道同樣の贊成後援を快諾するであらうことは既報の如く三十日午後三時から本社に宇佐美滿鐵々道部長、宮内營業課員、平野ジャパンツーリストビユーロー大連支店長、坂田同支部員及び山崎本社長ら會合して協議會を開催、競爭規定及び實行方法等を決定し同五時散會した

第二公式鹵簿の御模樣を謹寫
國定教科書の挿畫に

【東京卅日發電】天皇陛下には御即位後始めての觀兵式に威風堂々代々木原頭に行幸あらせられたが此の天長節の佳日に御威德輝くであやかな第二公式鹵簿の御模樣を新に國定教科書の挿畫となし一般小學生に皇室尊敬の觀念を深からしむるために今回宮内省の許可を得て文部省國定教科書挿畫揮毫囑託飛田周山氏が謹寫することゝなり同氏は廿九日早朝から二重橋前に赴き熱心に拜觀した、繪は今日の佳節に春水清く澄み渡る二重橋上を御召儀裝馬車が近衞騎兵の旗

宮城舊本丸に道場を建設
毎年御前試合を行ふ

【東京特電三十日發】宮内省側では今回の晴れの御前試合が吾國古來の柔劍道の發達に貢獻すること大なることに鑑みて宮城内の舊本丸に新しく大道場を建設し年一回陛下の御親臨を仰ぎ大々的御前試合を催したいと考慮中であつたが、いよく豫算の許す限度に於て來年度から實行することになり尚近く財源捻出につき考慮の上準備に着手する筈であるが、道場は古式を尊重して純然たる日本式道場を建設する筈である

美しい花壇の春　協和會館の前

大連の徵兵檢査日割決る

……に包まれて尊嚴なる鹵簿が進御する御模樣を謹寫したものである

大連に於ける昭和四年度徵兵身體檢査は五月五日より同十日まで六日間大連伏見臺小學校に於て、檢查執行官關東軍司令部附高野中佐の手によつて執行されることになつたがその日取は左の通りである

五月五日第一第二分會九一人、六日第三分會一二七人、七日第三分會一二七人、八日第四第五東公園分會一二八人、九日公園分會一二七人、十日沙河口大廣場分會一一一人合計七百十一人

本年在留地檢查出願中のもので住山伊三郎、山中勇、齋藤瀬市の三名に對する通達書は所在不名のため交附不能となつてゐるので心當りの者は大連民政署兵事係に申出られたいと

軍隊宿泊手當を貧困者に惠ぐむ
手紙を添へ派出所へ

二十七日午後八時ごろ年齡十六、七歲一見店員風の男が大連山縣通り警官派出所を訪れ一封の手紙を投げ込み逃ぐる樣に立ち去らんとするので折柄詰め合せてた黒瀨巡査が止め置き右手紙を披見するに過般滿洲守備軍交代の際軍隊を宿泊せしめたとき何等の待遇も爲さざるに金十八圓と云ふ過分の手當を下附され恐縮に堪へないから右は滿洲日報所載の「茂一やーい」の主人公日下部茂一の如き悲境にある同胞へ惠與して下さいと金十八圓を同封した同情の手紙であつたのでこの奇特な行爲者の住所氏名を訊ねたが口を緘して語らぬも調查の結果、右は山縣通り一三〇海運業堤昇（四〇）が店員笠間英次（一七）をして持參せしめたものと判明した

故鄕戀しく ロシア少年の密航
大連驛で發見し追放

二十七日午後一時ごろ大連驛にウロ〳〵してゐる露西亞生れの少年の居るのを構内取調中の黒岩巡查が發見し取調べた處同少年はコーレン（一五）と云ひ父親や姉に連れられ上海に行つてゐたが父親は醉つ拂ひ姉はダンサーで家庭が納まらず露西亞の土地が戀しくて同日入港の定期船で密航し逃げ歸りその足で哈爾賓方面へ薩摩守をきめ込まんとした處を取り押へられたものである、取調べの上拘留三日に處せられ三十日在連露西亞人より旅費を惠まれ目的の哈爾賓へ追放された

庫倫宛小包の取扱をせぬ

蒙古庫倫へ宛た小包郵便物は當分の内取扱はぬことに遞信省から公示せられたが滿洲内の郵便局でも同樣送達の需に應ぜぬことゝなつた原因は只今の處判明せぬが何等かの事情に因り送達停止方支那郵政廳から日本遞信省へ依賴して來た爲であらうと

支那側の誓言で漸く解決す
昨日から工事に着手
龍鳳新坑の開鑿問題

【撫順特信】旬日に亘り紛糾に紛糾を重ね遂に流血の慘事まで惹起した撫順炭礦龍鳳坑の新斜坑開鑿工事妨害問題の善後策に就き炭礦側は條約明文を説いて頑強に中國側の反省を求めたる所縣公署側も自己管轄住民が集團の暴力を以て國際間の信義を蹂躙する事の非なるを悟り責任を以て部落民の暴擧を徹底的に抑止すると共に今後斯る行動を絶對になさしめざる誓言をなし漸く本問題も解決し炭礦側は三十日より豫定の工事を進める事となつた

その結果炭礦側でも友誼的に當初の聲明通り同部落民三百戸一千二百人の住民の爲め灌漑放水等せざる事を條件として水道を急設する事及び新道を開く事となり且つ暴動の主謀者として撫順署に拘留中の同部落民陳闌亭（五三）陳子心（三三）王殿喜（二八）の三名も二十九日放還した

陽氣に浮かれ交通事故頻々

陽氣と花に浮かれて歩くこの頃は交通事故も鰻棒に增えて來たが二十七日午前九時四十分ごろも大連白雲山車夫合宿所人力車夫伊房臣（二〇）が大連驛より客三輪エツ（五〇）を乘せ日本橋廣場に差し蒐かつた時、後方より進行して來た春日町三稻妻タクシー運轉手岡壽治（二三）の操縦する自動車に追突され人力車は爲めに顚覆し乘客エツは構會を喰つて投げ出された

◇

二十七日午後二時三十分ごろ大連車夫合宿所人力車夫賈昌山（二九）は春日町方面より客を乘せ若狹町と壹岐町の交叉點に差し蒐かつた時後方より何等の信號も爲さず追越さんとした監部通り三一共和號紙店員高木正義（一七）の操縦する三輪自轉車に衝突し横倒れとなり幸ひ人畜に死傷はなかつたが車體は滅茶苦茶に壞された

◇

廿八日午後二時三十分ごろ越後町三二靴販賣大沼松次郎（五二）は自轉車に乘り近江町東拓横より西方に出で三河町へ右折せんとした刹那西廣場より三河町を經て若狹町を左折せんとしたナタクシー運轉手伊藤某の操縦する自動車と衝突し自轉車は使用に堪へざる程度に破損され大沼も左足に治療約一週間を要する擦過傷を負はされた

醉拂って巡査に暴行
眞夜中に逢坂町で

廿九日午前零時頃大連逢坂町派出所詰三村巡査が部内警邏中同遊廓三十四番地先に差し蒐かつた時、建築材料たる壁塗り材料の練舟中に立小便してゐる醉つ拂ひを發見し制止の上住所氏名を尋ねたがこれに應ぜぬので派出所へ同行せんとした處、突然二人の醉つ拂ひは柔劍道三段の同巡查の胸倉を取り柔道の手で大道へ投げ付け逃走を企てたので同巡查はこれを追跡し再び取り押へんとしたる處又しても引き倒され兩人して亂打し制帽、制服を滅茶々々に破られ駈け付けた會我巡查の應援を得て辛くも取り押へたが

この者は山縣通國際運輸會社貨物係、柔道初段吉村格也（二九）および山縣通一二九滿鐵調査課員岸谷一郎（二九）と云ひ目下職務執行妨害として留置取調中である

深更の星ケ浦で女給が馬鹿騷ぎ
お客も一緒にお目玉

二十九日午前二時頃沙河口署員が星ケ浦海岸密行中橋下に亂舞放歌し痴態の限りを盡して風紀を亂してゐる十名の若い男女を發見、早速取調べるゝ男は某商店社員三升弘、同永井幸、某鐵道社員佐藤清香及市内敷島町上垣久四郎と市内岩代町黒猫カフヱー女給中原文子（二二）同荒井秀子（一七）及同町青山カフヱー女給江崎ハル（三七）西田タケノ（二〇）池内ハツ子（二四）及同カフヱー支那人女給史小新（一六）で係官から散々御目玉を頂戴の上同四時歸宅を許され呆々の體で引下つた

張宗昌氏、部下と廟島列島に島流し
乘船を渤海艦隊に拿捕され不安な狀態に陷る

張宗昌部下の白露兵二十八名及び支那人七名が三十日我克にて旅順に乘りつけ南山里より上陸せる事は既報の通りであるが、この外に三名の白露兵を同行したるもこれ等は途中で行方不明になつたゝ彼等は云つてゐる、彼等白露兵の語る處によれば張宗昌氏は部下を三隻の汽船に分乘せしめ去る廿六日ごろ一先づ廟島列島中の蛇磯島に上陸したるに廿八日に至り渤海艦隊が右汽船を發見してこれを拿捕し去つたゝめ張氏以下千五六百名の者は島流しの窮境に陷り目下不安に怯えてゐると、關東廳當局では從來の方針に基いて彼等の州内居住を許さず同日午後三時の列車にて白露兵二十名のみ州外に追放したが、殘りの支那人に就いては目下取調中である、尚張軍殘黨は今後も何時何處に上陸するか判らないので之等に對する警戒の任に當つてゐる旅順署高等係では手不足に困つてゐると

またも敗兵が旅順に上陸

昨夕刊既報の如く張宗昌氏敗兵の旅順上陸により旅順警察署に於ては各方面に亘り嚴重警戒をなしつゝあるが三十日に至つて軍服を着用の敗兵三、四名づゝ一團となり既に廿餘名上陸し來る始末に警察當局は何分にも海岸線長きため警戒に困憊の狀態である、一方この有樣では張宗昌氏が何時上陸し來るやも圖り知れずとあつて徹宵警戒に努めてゐる

ゆうべ乾元號大連港を去る

二十七日朝ひよつこり老虎灘沖に現はれ其後今日まで食糧は無し船長には逃げられ廢船の如く棄られて居た問題の乾元號は、漸く今村常次氏の義俠的船長就任によつて食糧を積込んで三十日午後八時何處ともなく大連港外を出帆した

虐待され逃げ出す
支那少女、宏濟善堂へ

三十日午後二時ごろ日本橋派出所詰め林田巡査に連れられて、オドく大連署に出頭し間もなく宏濟善堂に引渡された可憐な支那の少女があつた

この者は山東省濟南府南門外生れの閻鳳（一三）と云ひ張宗昌氏第一夫人の養女閻香（一八）と張……

けふのラヂオ

昭和四年五月一日（水曜日）

自午前十一時 相場（各地相場）

自午後〇時三十分 ニユース

自午後三時三十分 相場（各地相場）ニユース

自午後七時三十分（洋樂の夕）

一、ニユース

二、英語講座 英語の發音（子音聯續音）大連彌生高等女學校茶谷茂

三、女聲二重唱 春の鳥 大連高等音樂院高音大給夫人、中音中村靖子、伴奏村岡天津子

四、ハーモニカ四重奏 驚の巣、三重奏殖民地の巡邏兵 GYハーモニカソサイテー佐藤勝郎、木村光、田崎英雄、小川良平

五、マンドリン合奏 イ、沙漠の澤地にて（マルセリ作）ロ、美しき假面（ミネツト）コレツタ作 滿鐵音樂會演奏部員

六、獨唱 イ、歌劇サバの女王から朗詠調グウノー作、ロ、嘆歌（日本語）マネー作、ハ、夜（露語）コチョトフ作 キツトマノフ夫人伴奏メドウエデフ夫人

七、ヴアイオリン イ、ロンチイノ ベートベンの主題ニヨルクライスラー作、ロ、花の雨（ドウルドラ作）滿鐵音樂會演奏部員

八、料理獻立 九、天氣豫報 一〇、ラヂオ體操

本社懸賞當選小說（新派劇上演）

人生の曲藝（116）

瀬野皓太作　浅枝次朗畫

ある計略（四）

「鎌倉は、夏以來隨分久し振りだわ」

葉山百合子は、ふとそんな事を言ひ出した。

「はゝゝゝゝ。あそこは先づ夏の場所だからな。又、春さきから夏になると、度々來られる所だ多はやつぱり、東京に限るて」

「でも、妾ども見たいに東京で、その上に毎晩の樣に舞臺に上るものは、やつぱし東京に住むものじやないわ。妾、一層のこと、横濱に移らうかとも思つてゐるのよ」

「あそこも惡くないな。本牧あたりに好い場所さへ、めつければ、あんた見た樣な、美しい人は大歡迎ぎかも知れないな。それに東京劇場の明星だと言ふ事になると、先づ毛唐どもはがやくくと押しかけることになつて、そりや隨分好いかも知れないな、はは……」

「まあ、あんな憎らしい事を、妾横濱はそんなら止しにしますわ。そんなら鎌倉の郊外にでもしませうか、少し遠いけれど」

「うむ、その鎌倉は又騒がしい所だて。あそこには不良文士どもが、巣を作つてる所だ。奴らは一體、何かしら面白さうな事件を探し出しては飯にしてゐる。あんたの噂は、いろくな小說になつて根もない噂をさも、ほんとうらしく書き立てられる……」

「あゝ、いやくく。妾、やつぱり東京が好いわ。そして、劇場に近い丸の內ホテルがやつぱり好さゝうだわ」

「さうさ。人間は一番便利な所に住んでるのが好いのだ。俺の樣に茅ケ崎くんだりにまで逃げなくちやならないとなると隨分悲慘なものさ。あなたらは、居留守を喰はすことも出來るが、居留守を喰はしても、その利き目がなくなつた者ほど可愛さうなものはないからな。丸の內ホテルにゐて、あなたは默つてゐさへすれば、どんな田舍に逃げるよりも確に有効なんだからね」

百合子は、調子にのつて無駄話をしてゐる藤村子爵から、何か面白いものを引き出さうとこゝろみた。

「隨分、この頃、お急がしさうねいつだつても、茅ケ崎にゐらつしたた事はないわ」

「そこだよ。この頃は茅ケ崎までも、俺の爲には隱れ場所ではなくなつて來たのだ。俺は更に有効な隱れ家を作つてゐるのだ」

「それもさうかも知れないけれどあなたは此の頃隨分、お仕事が急がしさうだわ」

「さうだ、確に急がしい。俺の身體が急がしくなることは、益々國家が急がしくなつて來たことなのだ」

葉山百合子は、ヂロリと彼を見つめた。

「國家が急がしくなるつて？」

「さうだよ、對外問題が逼迫してゐるのだ。重大問題が起りつゝあるのだ」

「重大問題？一體それは何なの」

「それを俺に言へと言ふのか」彼は、深い冷たい眼を彼女に向けた。

「はゝゝゝ。それを聞いてどうするのだ。も少し經てば之は新聞にさへ載るかも知れない事件だが、まだ話すわけにはいかん」

「あら、だつて、妾が他におしやべりをする樣に見えて？」

「それとは又、別問題さ。國家の危急はさう簡單にはいかんものだよ。むづかしくてな。秘密は何處までも秘密だ。藤村子爵とも有らうものが、婦女子に秘密を明したと言ふ事は、この政治的良心が許さんからな」

はははゝゝゝ」

藤村子爵は、哄笑した。

彼女は、まるで彼女自身の內兜を見すかされた樣な、口惜さが胸に込み上げて來たけれ共、この老練な政治家が、彼女の優腕で翻弄されるのには、あまりに大きかつたのであつた。

一つの眼が、この二人の話を間近かく聞いてゐるのを、まるで知らない樣に、そして晴れやかな談笑を續けてゐるこの貴族と女優とを載せた汽車は、東京を指して走つた。

満日柳壇

川柳「春氣分」の選に就て

青龍刀

（一）

然らば今回の題春氣分に就ては如何に作られねばならなかつたかを述ぶれば、この題は單に春の氣分や情調やスケッチ等を要求して居るのではなく、春になつて變つて來る天象地象及び生物界、人間界の狀態に就て、如何なる點に面白味を見出し、可笑味、皮肉味を見出すかと云ふことを作句者に要求してゐるのである。だから、短い貴重な十七字の中を「春氣分」とか「春心地」とかの不必要の文句で狹めることはなるべく避けねばならぬ。而して、その見出すべき面白味可笑味、皮肉味は作者自身として獨特のものであり、且つ今迄何人も見出し得なかつたことであることを第一とする。下揭の入選句は完全とは云ひ難いが、稍この要求にはまつてゐるもので、入選しなかつた句の作者はこれと對照して大體の眞川柳に對する概念を得られたい。（昭和四年四月）

入選句

春氣分娘揃つた後をつけ　葛郎

なけなしを見……　黃衣魚

五月川柳課題

▽「逃げる」 長谷川百穴選　五月五日締切

▽「談判」 小倉峰朗子選　五月十日締切

▽「視察」 編輯局選　五月十五日締切

◎各題必ず別記一人五句限

満日文藝係

ためになるおはなし

（家庭欄）（五十一）

如何して音は反響するか？

これからの暖かい晴れた日には遠足や山遊をする日があるでせう山へ入つて谷などで、遠く先へ行つたお友達の名前を呼んだりしますと、何處からか、同じ樣に呼ぶ聲が聞えるでせう。『おーい』と呼ぶと、又彼方から『おーい』と呼ぶ聲が聞えて來ます。誰か、谷の蔭に隱れて居て、此方の呼ぶ聲を眞似して居る樣にも思はれて、初めて聞いた方は妙な心持になるでせう。これが、反響と云はれるものであります。

ゴム毬を壁に投げつけると、はづみをうつて、ボーンと此方へ飛つて來るでせう。聲がむかうの谷の岩などに當つてかへつて來るのが、こだまになつて聞えるのです。

海の水が波になつて押し寄せて來て、岸の巖にあたると、又沖へ波になつてかへつて行くでせう。

熱も、光も、皆、波になつてわたつて行くのです。これが何かにつきあたつて、むかう側へ突き抜けられない時は、反射します。引つかへすのです。

音もこれと同じ樣に波になつてわたつて行きます。この波が、防ぎとめるものに打ちあたりますと、はねかへつて、引つかへして來るのです。

音が何かにとめられると、反射します。若しあなた方が、岩の壁を背にして立つてる時、又あなた方の前に、少し離れて、岩の壁があるとします。そこで聲をたてゝごらんなさい。すると、背からも前からもこだまが聞えて來て、繰返して聞えて、しまひになくなると云ふこともあります。

道の兩側に高い石垣のある處へ立つて、手を打つてごらんなさい此の音がいくつもこだまになつて聞える樣なことにはならず。丁度水の中へ石を投げた時いくつも其の波のまはりに波がひろがります樣に、此の音に影がついて聞えます。これもこだまの一種であります。

いゝこだまと云ひますのは、山の中などで、聲をたてる時、反響が聞えます、これを木に魂があつて、これがその聲をまねるとでも思つて、木魂と云ふ名をつけたのだらうと云ふことです。

戸外の樂しい時

四月三日の神武天皇祭がすみますと、もうやがて櫻になつて來ます。一年の中でも、先づこんな陽氣な季節は他にございますまい。戸内でじつとして居られないくらゐに體に元氣が出て來ますから遠足とか、運動會なども盛に催されますし、スポーツを觀に行つたり日の暮れるまでお友達と戸外で種々の遊戯をして時の過ぎるのに氣がつかずに居ることが多くなります。

夕暮に歸つて、戸内へ入りますと着物には埃がいつぱいついて、頭から、お顏や手先まで、此の埃と汗で、ねと〳〵する樣な汚垢がついて居ります。

着物の埃をよくふるつて、刷毛で落し、お手入をしておしまひになりましたら、お湯へ入つて、ミツワ石鹸の泡沫で、頭から足の先まですつかり洗ひ清める樣にしませう。

ミツワ石鹸は水にも溶けますーお湯でも溶け過ぎる樣なことはありません。白い細かい泡が澤山出ます。これを浴槽から出た汚垢のついた膚へ塗りまして、靜かに撫でますと、膚の毛孔や皺の細かい處まで、此の石鹸の泡が入つて行つて、膚と汚垢の間へ入つて、此の汚垢をぐるりと取りまいてしまひますから、もう汚垢は膚につくことが出來ません。これをお湯をたつぷり含ませたタオルでおさへつける樣にしますと此の泡に圍まれた汚垢はきれいに流れて

□お花見□

お花見の頃は、輕い風が吹きます。丁度冬の間雪や霜でごろ〳〵に融された土が、乾いた處へ、此の風があたりますから、その埃の立つ事は、いつもよりひどい樣です。ですからお歸りになつたら、着物から此の埃をよくふるつて刷毛で、織目へ入つて居る埃までずつかり落しましたら、袂へミツワ香嚢を一袋づゝ入れておしまひになる樣にしませう。此のミツワ香嚢を入れて置きますと、着物につく虫が嫌つてつきません。又これから雨の降る時出來ますかびも防ぎます。今度出して此の着物を着ますとき、懷かしい移香がついて居りますから、その頃の樂しい事がそれからそれへと思ひ出されて來ます。

櫻は一重が咲いたと思ふと、やがて散つて行きますが、その中に八重が咲く、櫻草が咲く、蓮華草が咲く、草も木も鮮やかな芽が萌えて來ます。吹く風も軟かで日影はほか〳〵と暖かで、鳥が樂しげに何處かで囀つて居ります。

しまつて、いき〳〵とした膚が磨き出されます。體も心持も輕々となりますから、よく眠られて明日は勉强もよく出來ます。

□考へ物□

一羽取り殘さされた雛はこの道を通つたら中間の處へ行かれます

考へ物 1929

コドモページ　成績紙上展覽會

うれしい出來事

遼陽小學校尋六　小杉セツ子

日曜日の朝の事。時計が、四時をうつた。何だか、內の中が、ざわ／＼して來たやうだから、何事がおこつたかと思つて目をさました。「どうしたのですか？」ときくと、お父さんは、小聲で、「今、お母さんが、赤ちゃんをうむやうだといつてゐる。」と言はれた。私はびつくりした。昨日まであんなにぴん／＼して元氣であつたのが……すると、お母さんが、そろ／＼と、こつちへいらつしやつて、「あゝ何だかおなかがちく／＼していたい」と、おつしやつて もう、立つてゐられなくなつたやうに、又、とこの方へ、もどつた。私は心配でならなかつた。其の中に妹も目をさました。私は妹に、その事を手早く話した。お母さんは「あなたおさんばさんの所へでんわをかけてくれませんか」お父さんは「よし！」といつて ねまきをすばやく着かへて出ていらつしやつた。私はお父さんのかへりをまちあぐんだ。それから十分ぐらゐ、たつてからかへつていらつしやつた。お母さんは「でん話をかけましたか？」ときくと、「うん、あつちは、支那人だつたから、中々、言葉が通じなかつた……とおつしやつた。大分してから、さんばさんが行らつしやつた。そうして私達のねた所と、おざしきのさかひ目のふすまをしめた。さんばさんと、お母さんが何かこそ／＼話をしてゐた。それからだいぶたつてから、「早く／＼」といふ聲がした。其れと同時に「オギヤ／＼」大きな聲で、赤ちゃんのなきごゑがした。お母さんは、少し、御かげんがわるいらしい。お父さんは、「せつ子、早くおいしや様をよんで來なさい」とおつしやつた。私は、ねまきの上に、まんとを着て、すばやく、うら口にある大きな下駄をひつかけて、かけだした。おいしやさんの內についたが、戸があかない。ドン／＼／＼ごめん下さい／＼よんだが、一向出てくる樣子もない。私は、今度窓を、たゝいた。すると、しばらくして出て來た。私は今の出來事を手みじかに話した。そうしてとんで內へかへつた。お母さんはもう大分いゝやうだつたガラス窓から見てゐると、おいしや様は大またではしつてゐらつしやつた。私はやつと、むねをなで下した。やがてふすまもあけた。赤ちゃんを見ると、男の子でまるくこえてゐた。私はうれしくつてならなかつた。

ダンス

大廣場小學校三年　杉山幸子

四月十四日は朝からばんまで、あそぶひまや、べんきやうするひまがありませんでした。それはその日、りくぐんのへいたいさんに、私たちのダンスを見せる日でした。私は朝七時ごろおきて、かほをあらつてごはんをたべる時、むねがどき／＼して、ごはんがたべられませんでした。お母様が「幸子そんなにしんぱいしなくてもいゝよ。まちがつたつて、へいたいさんだから、はづかしくはないよ」とおつしやいました。けれども、私はむねがどきどきしてしようがありませんでした。ごはんをたべて、さんばつやにいつてから、村瀨さんのところに行きました。そしてダンスやをどりをする人があつまつてから、大連げきじやうに行きました。行つてから、ダンスのようふくを着て、ダンスをしました。ダンスをするところに小さいだいをおいてありました。私はその上でダンスをするのです。私はダンスをしましたダンスは前からうしろにさがつてくるので、その小さいだいからおちさうになりました。その時へいたいさんがわらひましたので、私ははづかしかつたです。私はもう一つのダンスにも出ました。それはおんまでした。おんまは六人でするので、私たちはそろつたようふくを着るのでしたが、四月十四日にはまにあはなかつたので、自分たちのようふくでダンスをしました。このつぎの二十九日にきやうわかいかんでまたするのです。

童謠　もうこかぜ

大廣場小學校二年　堀義彥

ピュウ　ピュウ
大きなこえたてる
あばれんぼうの
もうこかぜ
ぼくが　がくからから
かへるとき
お池に
おつこちさうだつた
おふろのえんとつ
まがつたよ
あかちゃんのおしめが
とんぢやつたよ
おにはのアカシヤも
おれちやつた
あばれんぼうの
もうこかぜ

ボウヤ

伏見臺小學校尋二　山元ノリ子

キノウ　ボウヤハ　ニイチヤンノトコロニイツテアソンデヰマシタ。ニイチヤンハ本ヲヨンデヰマシタ。ソシタラ　ボウヤガ「チヨツトウチヘカヘツテクル」トイツテ出デイキマシタ。ボウヤハウチヘカヘラズニトコヤニイツテ、イキナリ「ボウズニシテクレ」トイツテハイツテイキマシタ。ソシタラオバサンガ「オカアサンガソウイツタノ」トイヒマシタ。ボウヤハウソヲツイテ「オカアサンガボウズニシテオイデトイツタヨ」トイヒマシタ。オバサンハホンタウカトオモツテボウズニキリハジメマシタ。ボウヤハキツタケヲテニモツテワラツテヰマシタ、オバサンガ「モウスンダヨ」トイヒマストボウヤハ「サツパリシタ」トイヒマシタ。ソシテニイチヤンノトコロヘカヘツテイキマシタ。ニイチヤンハマダ本ヲヨンデヰマシタ。ボウヤハ「ニイチヤン、ボクボウズニナツタヨ」トイフト、ニイチヤンハ　ボウヤノアタマヲミテビツクリシマシタ。ソレカラウチヘカヘツタラ、オカアサンモビツクリシマシタ。ソウスルト　ボウヤガ「ボクナンダカオカシイノダ」トイフト　オカアサンガ「トラナイホウガヨカツタデセウ」トイヒマスト　ボウヤガ「ボクネヤツパリトツタホウガヨカツタ」トイヒマシタ　オカアサンハカナシミマシタ。

オルスバン

伏見臺小學校尋二　畠山タイ子

ユフベ　オトウサント　イモウトト私ト　オルスバンヲシマシタ　ミンナデ　ニカイニアガツテ、モウフヲシイテ　ガクゲイクワイヲシマシタ。イモウトハ　ドンブラゴツコヲウタヒマシタ。私ハクライミツラヲウタヒマシタ。オトウサンハ「ゴタツゴツコ」ヲシマセウトイツテ、オフトンヲシイテネマシタ。私モイモウトモ　オトウサント一シヨニネマシタラ、スグネムツテシマヒマシタ。アサオキテミルトマクラモトニアカイハナヲノゲタガアリマシタカラ、トビオキテハイテミマスト、チヨウドヨイクライデシタ。イモウトモゲタデシタ。ソレカラオカアサンニドコニイキマシタカトキキマスト、ナニハチヤウニイキマシタトイヒマシタ。

ねずみ

沙河口小學校尋三　杉原玉代

ねずみはまい日
いそがしい
まいにちまいにち
ちゆうちゆうと
おいしいものを
ぬすみだし
すまないかほして
たべてゐる
をばさんおこつて
ほうきもつ
もつてどしんと
たたいたら
ねずみはちよんと
いつちやつた
ねずみのかあさん
ひげはやし
そのくせどろぼの
めいじんだ
かあさんあかちやん
うまれたら
ちゆうちゆういつて
ないてゐる
なくのとわらふのと
どつちかね。

コヒノボリ

大廣場小學校尋一　堀英子

タカイオソラノ
コヒノボリ
ヒゴヒトマゴヒガ
アガツテル
コヒノアカチヤンモ
アガツテル
キンノウロコヲ
ピカピカサセテ
カゼニフカレテ
オヨイデル
カラダヲユスツテ
オヨイデル

寫生（水彩）

大廣場小學校四年　山本重男

母國見學旅行記

旅の最後の日……京城の一日
―四月六日（第十九日）―

彌生高女旅行團　松野くに子

朝鮮鐵道當局の御厚意に依つて定員八十名の一車を私共一行の爲めに提供されましたので昨夜は充分に眠ることが出來ました。五時過ぎに醒めますと美しい朝日は昔々として車窓を照して居ります。洗面を終つて線の[illegible]を眺めます。禿た山、小さな家、白衣の人、何と單調な

殺風景な景色でありませう、內地の美しい山川に接して來た私共は特に感が深う御座います。私共は一樣に「物足りない」と言ふ感を抱かずには居られませんでした。朝七時に京城に着きました。先づ原金旅館に御物を下し朝食を採りました。京城第一高女の先生が態々私達の爲めに案內の勞をとつて下さいます。九時頃宿を出發して京城の見學に出掛けました。

何となくのんびりとした京城の町、呑氣さうな**白衣の**人が特に目に着きます。南山公園に上り京城の市街を大觀いたしました南山と北漢山との間に挾まれた京城市街は思つたより廣く立派に見うけました南山の腹を切り開いていと壯嚴に建てられた朝鮮神宮に參拜いたしました。

南大門を通り德壽宮の前を過ぎ電車で朝鮮總督府に參りました白堊の堂々たる五層の建物、內部を隈なく案內されました。六百萬圓を投じ**約十年**を費して出來た大建築ださうで特に大ホールは美しく立派でありました。そこを出て裏手に當る景福宮の御苑を拜觀いたしました。明治の初年大院君の攝政時代外國に誇るべき唯一のものとして建てられた慶會樓は周りの靜かな池面に影を落して居りました。博物館に古朝鮮以來の多くの古物を見再び電車で昌慶苑に參りました。そこで**晝食を**濟まし、秘苑を拜觀いたしました。自然的の餘り人工を加へない立派な廣い庭園でありました。植物園を見て更に動物園に行きました、上野の動物園よりは小さいが可成り多くの動物を集めてあります、ライオンも象も居ります、河馬も居りました。大體の見學を終へて宿に歸つたのは五時過ぎ入浴、夕食を終へて妓生を呼んで標準的の朝鮮踊りを見る事になりました。よく繪はがきにある樣な

綺麗な服裝の妓生が悲しさうな樂器の音につれて踊りました「春鶯舞」、「僧舞」、「劍舞」の三つ、何れも單調な力のない踊りでありました。何となく朝鮮民族の歷史を如實に表現してゐるやうに感じました。やつぱり活氣ある民族の踊りは力あり變化あるのが自然でありませう、京城の夜景を見に出かける人もありました。之で拙き私達の旅行記を終る事といたします。終りに此の拙文を連載して下さいました滿洲日報社に心から御禮申上げて擱筆いたします。